

「第14回 土岐川・庄内川流域治水協議会を開催」 ～流域治水プロジェクトの取組状況を確認～



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

みんながまもる土岐川・庄内川

○「第14回 土岐川・庄内川流域治水協議会」について対面・Web併用により開催し、56機関が出席。

日時： 令和7年2月12日（水）13:00～14:00 場所：T K PガーデンシティPREMIUM名駅西口前3F カペラ

○令和6年度災害（出水）をふりかえるとともに、命会議「土岐川・庄内川流域の減災に係る取組方針」と流域治水協議会「流域治水プロジェクト」が連携し、防災・減災の取組を継続的に推進していくことを確認しました。

○「流域治水プロジェクト」にもとづく対策の実施状況について、報告が行われました。

○他、自分事化に係る話題（NIPPON防災資産の認定、自由研究、防災教育）について、情報共有しました。

*「令和6年度第2回土岐川・庄内川の洪水から命を守るための会議（命会議）」と同時開催

「流域治水プロジェクト」にもとづく対策の実施状況について報告



たかぎ たかゆき
高木貴行 多治見市長



かとう じゅんじ
加藤淳司 土岐市長



いしぐろ なおき (Web参加)
石黒直樹 春日井市長



かとう じょうじろう
加藤錠司郎 稲沢市長

○これまでの庄内川流域治水プロジェクトに基づく取組に加え、主に雨水出水浸水想定区域図の策定、グリーンインフラの取組として、多治見かわまちづくり計画（上流区間）を積極的に取り組んでいく予定です。

○水防協力団体に「土岐川・庄内川の研究・作品大募集！」にご協力いただきました。

○ワンコイン浸水センサ実証実験を実施。近年多発する豪雨に対し、これまで以上に迅速に水害対応を行うため、ワンコイン浸水センサを設置し、浸水状況を速やかに把握するとともに、市民への警戒情報の発信を強化する。

○地域住民に流域治水を自分事として捉えていただけるような体験を提供しています。
○大雨に備えた土のうの配付を事前に実施することで、大雨に対する事前の備えや意識の向上を図っています。
○大雨・洪水・暴風警報の発表と同時に、指定一般避難所に職員が出向し、避難所の開設準備を行うことで、地域住民の安全確保に努めています。

○気候変動に伴う水害リスクの増大に備え、流域治水プロジェクト2.0に基づいて「雨水貯留施設の整備」「雨水流出抑制施設設置補助の拡充」に取り組んでいます。

自由研究受賞作品展示



「土岐川・庄内川研究・作品（自由研究）」において、「研究の部」「絵画の部」それぞれ受賞作品をご覧いただけるように会議会場に展示しました。

☆Webでもご覧いただけます。

https://www.cbr.mlit.go.jp/shonai/bousai/ryuiki_chisui_kyougikai/research/award_r6.html